

令和2年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年5月21日

上場会社名 株式会社ユニバーサル園芸社
 コード番号 6061 URL <http://www.uni-green.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森坂 拓実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長 (氏名) 安部 豪
 四半期報告書提出予定日 令和2年5月22日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 072-649-2266

(百万円未満切捨て)

1. 令和2年6月期第3四半期の連結業績(令和元年7月1日～令和2年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2年6月期第3四半期	6,996	12.5	921	34.7	945	32.5	662	38.0
元年6月期第3四半期	6,216	13.3	684	6.7	713	10.7	479	65.2

(注) 包括利益 2年6月期第3四半期 628百万円 (33.6%) 元年6月期第3四半期 469百万円 (69.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2年6月期第3四半期	137.81	
元年6月期第3四半期	99.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2年6月期第3四半期	8,911	7,409	83.1
元年6月期	8,357	6,877	82.3

(参考) 自己資本 2年6月期第3四半期 7,409百万円 元年6月期 6,877百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
元年6月期		0.00		20.00	20.00
2年6月期		0.00			
2年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和2年6月期の連結業績予想(令和元年7月1日～令和2年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,460	10.0	1,001	5.6	1,014	6.3	691	38.2	143.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

令和2年6月期の業績につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響を合理的に算定することは困難であるため、今後合理的な算定が可能と判断された時点で速やかにお知らせいたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2年6月期3Q	5,025,000 株	元年6月期	5,025,000 株
期末自己株式数	2年6月期3Q	220,589 株	元年6月期	220,484 株
期中平均株式数(四半期累計)	2年6月期3Q	4,804,449 株	元年6月期3Q	4,804,578 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競争状況・為替・金利の変動等にかかわるリスクの不安定要因により、実績の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。なお、業績予測に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などに将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、経済政策等の効果による企業収益や雇用環境の改善を背景に、景気は全体としては底堅く、緩やかな回復基調で推移しました。一方、2020年2月以降は新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により消費需要が急速に減退し、景気の先行きは不透明な状況で推移しております。

このような環境のもと、当社グループは主力事業であるグリーン事業において、レンタルグリーンにおける新規顧客の獲得や販売促進のためのマーケティング活動に引き続き注力したほか、生花店及び園芸雑貨店とネット通信販売との相乗効果及び収益改善を図る取組を進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,996,529千円（前年同四半期比12.5%増）、営業利益は921,633千円（同34.7%増）、経常利益は945,514千円（同32.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は662,079千円（同38.0%増）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

各セグメントの経営成績の数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

〔グリーン事業〕

グリーン事業につきましては、米国子会社のローリング・グリーンズ・インク社の経費削減や業務効率化を図り収益改善に取り組んでおります。尚、国内は契約数の増加等により、グリーン事業全体では増収増益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は5,020,578千円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益は908,421千円（同37.0%増）となりました。売上高営業利益率は、関東エリアは26.1%（前年同四半期21.9%）、関西エリアは25.4%（同24.1%）、海外エリアは2.6%（同△2.7%）となりました。

〔卸売事業〕

卸売事業につきましては、販売先の拡大等の営業強化に取り組みましたが、退職者の補充等で人件費が増加し、減益となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は840,769千円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は53,967千円（同23.7%減）となりました。

〔小売事業〕

小売事業につきましては、the Farm UNIVERSAL大阪のいちご園の第2ハウスをオープンし、さらなる集客に努め、2019年11月にオープンしたグランベリーパーク南町田の集客も好調で増収となっておりますが、引き続き設備投資の償却負担等が回収できなかったこと等によりセグメント損益は損失となっております。尚、ガーデンセンターやグリーンショップ、フラワーショップ、ネットショップ等の小売事業は、「母の日」や季節的要因により第4四半期が最も繁忙期となります。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,345,974千円（前年同四半期比40.0%増）、営業損失は60,953千円（前年同四半期は71,501千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（総資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は8,911,449千円となり、前連結会計年度末に比べ553,531千円の増加（6.6%増）となりました。

このうち流動資産は4,760,993千円となり、前連結会計年度末に比べて468,122千円の増加（10.9%増）となりました。これは主に、現金及び預金が346,121千円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は4,150,456千円となり、前連結会計年度末に比べて85,409千円の増加（2.1%増）となりました。これは主に、投資有価証券が98,860千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,501,899千円となり、前連結会計年度末に比べて21,743千円の増加（1.5%増）となりました。これは主に、買掛金が26,936千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は7,409,549千円となり、前連結会計年度末に比べて531,787千円の増加（7.7%増）となりました。これは主に、利益剰余金が565,988千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和2年6月期の業績につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大が業績に与える影響を合理的に算定することは困難であるため、今後合理的な算定が可能と判断された時点で速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和元年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,886,264	3,232,386
受取手形及び売掛金	936,426	997,963
商品及び製品	382,074	408,796
原材料及び貯蔵品	769	863
その他	101,897	134,446
貸倒引当金	△14,560	△13,463
流動資産合計	4,292,870	4,760,993
固定資産		
有形固定資産		
土地	987,321	987,321
その他	2,381,121	2,539,339
減価償却累計額	△1,403,863	△1,516,767
その他（純額）	977,257	1,022,571
有形固定資産合計	1,964,579	2,009,893
無形固定資産		
のれん	650,564	571,403
その他	30,373	50,769
無形固定資産合計	680,938	622,173
投資その他の資産		
投資有価証券	104,647	203,508
繰延税金資産	487,191	482,510
投資不動産	508,844	509,024
減価償却累計額	△123,728	△129,182
投資不動産（純額）	385,115	379,841
その他	445,704	452,733
貸倒引当金	△3,130	△204
投資その他の資産合計	1,419,529	1,518,389
固定資産合計	4,065,047	4,150,456
資産合計	8,357,918	8,911,449

（単位：千円）

	前連結会計年度 (令和元年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (令和2年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	306,983	333,919
1年内返済予定の長期借入金	5,857	3,732
未払法人税等	211,844	126,967
賞与引当金	2,894	49,408
その他	479,669	474,406
流動負債合計	1,007,248	988,434
固定負債		
長期借入金	6,759	4,081
退職給付に係る負債	192,490	201,635
長期未払金	219,345	224,426
その他	54,312	83,321
固定負債合計	472,907	513,464
負債合計	1,480,155	1,501,899
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,770	172,770
資本剰余金	122,488	122,488
利益剰余金	6,794,175	7,360,164
自己株式	△154,040	△154,225
株主資本合計	6,935,393	7,501,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△80	△902
為替換算調整勘定	△57,551	△91,255
その他の包括利益累計額合計	△57,631	△92,157
非支配株主持分	—	510
純資産合計	6,877,762	7,409,549
負債純資産合計	8,357,918	8,911,449

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成31年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自令和元年7月1日 至令和2年3月31日)
売上高	6,216,665	6,996,529
売上原価	2,356,446	2,592,115
売上総利益	3,860,218	4,404,414
販売費及び一般管理費	3,175,853	3,482,781
営業利益	684,364	921,633
営業外収益		
受取利息	260	1,753
受取配当金	231	203
投資不動産賃貸料	19,863	25,329
為替差益	2,120	3,891
その他	26,688	13,596
営業外収益合計	49,165	44,774
営業外費用		
支払利息	2,080	4,572
不動産賃貸原価	12,879	11,206
その他	5,006	5,113
営業外費用合計	19,966	20,893
経常利益	713,563	945,514
税金等調整前四半期純利益	713,563	945,514
法人税等	236,451	283,011
四半期純利益	477,111	662,503
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,518	424
親会社株主に帰属する四半期純利益	479,630	662,079

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成30年7月1日 至平成31年3月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自令和元年7月1日 至令和2年3月31日）
四半期純利益	477,111	662,503
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135	△822
為替換算調整勘定	△7,305	△33,617
その他の包括利益合計	△7,169	△34,439
四半期包括利益	469,942	628,063
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	472,421	627,552
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,478	510

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（追加情報）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成30年7月1日至平成31年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	1,771,082	1,307,973	1,539,553	4,618,609	636,819	961,235	6,216,665	—	6,216,665
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,143	—	2,143	199,951	149	202,244	△202,244	—
計	1,771,082	1,310,117	1,539,553	4,620,753	836,771	961,384	6,418,909	△202,244	6,216,665
セグメント利益(△は損失)	388,085	316,322	△41,455	662,952	70,690	△71,501	662,140	22,223	684,364

(注) 1 セグメント利益の調整額22,223千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自令和元年7月1日至令和2年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	グリーン事業				卸売事業	小売事業			
	関東エリア	関西エリア	海外エリア	小計					
売上高									
外部顧客への売上高	2,065,677	1,273,366	1,676,051	5,015,095	635,961	1,345,472	6,996,529	—	6,996,529
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,928	1,554	—	5,483	204,808	501	210,793	△210,793	—
計	2,069,606	1,274,920	1,676,051	5,020,578	840,769	1,345,974	7,207,322	△210,793	6,996,529
セグメント利益(△は損失)	541,116	324,146	43,159	908,421	53,967	△60,953	901,434	20,198	921,633

(注) 1 セグメント利益の調整額20,198千円は、各セグメントの事務所使用料の内部振替分等であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。